

平成30年2月1日定例教授会議事抄録

出席者

梶屋所長

青山、板倉、大木、黒田、佐藤、菅、園田、高見澤、長澤、中島、名和、平勢、松田、真鍋、安富の各教授

池亀、額定其芳、藏本、小寺、鍾、塚本、馬場、古井、米野の各准教授

海外渡航者

高橋教授

議事

1月18日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募 なし
2. 各種研究助成等の募集について 資料P5のとおり2件

報告事項

3. 所長報告

梶屋所長より、以下の会議等について報告があった。

1) 科所長会議（1月30日）

① 就業規則等の改正

資料P7～17に基づき、平成30年3月1日付改正案、同年4月1日付改正案、働き方改革への対応状況について、説明があった。

② 研究組織の在り方についての提言案

研究組織の在り方についての提言案の概要について報告があった。

③ 特命教授（仮称）制度及び特命研究教授（仮称）制度の制定

資料P18～28に基づき、特命教授（仮称）制度及び特命研究教授（仮称）制度の制定の概要案について説明があった。意見交換の後、本制度案に意見等のある方は所長まで申し出ていただきたいとの要請があった。

④ UTokyo Global Advisory Board の提言

資料P29～38に基づき、UTokyo Global Advisory Board の提言について説明があった。また、本提言に意見等のある方は所長まで申し出ていただきたいとの要請があった。

⑤ 第4回戦略的パートナーシップシンポジウムの開催

資料P39～43に基づき、第4回戦略的パートナーシップシンポジウム「非英語圏に位置する大学における英語の役割」が3月6日（火）に開催されるとの案内があった。

2) 総長と研究所長・センター長代表者・医学部附属病院長との懇談（1月30日）

① 資料P 4 4～4 5に基づき、平成30年度の「共同利用・共同研究プロジェクト分」について、一律26%減の予算案が示されたことを受け、研究所長懇談会一同により総長へ救済措置の要望書を提出したこと等の報告があった。

② 国立大学の設置情報の透明化について、文部科学省において面積や共同利用・共同研究拠点としての利用状況等を数値化しているが、ここでは東京大学の数値が基準値とされているとの報告があった。

3) 教員の海外渡航について（報告）

資料P 4 6のとおり3件を承認した旨報告があった。

4) 委員等・非常勤講師の応嘱について

資料P 4 7のとおり委員等2件を承認した旨報告があった。

5) その他

4. 各委員会報告

1) 財務委員会

松田委員長より、資料P 4 8～4 9に基づき平成29年度予算執行状況の報告があり、個人、委員会ともに適切な執行へ協力いただきたいとの要請があった。また、平成30年度予算案について、後程審議願いたいとの説明があった。

2) インフラ委員会

安富委員長より、

① PCBの処分について最終確認をして、申告していないPCBは無いとの報告があった。

② 施設保全カルテ作成のための実地調査があった際、水漏れの可能性を指摘された箇所があったこと、そこについての修繕に要する見積もりを依頼しているとの報告があり、詳細が判明したら改めて報告するとの説明があった。

これを受け、指摘を受けていない場所だがトイレの点検をしていただきたいとの要望があった。

3) 研究企画委員会

藏本委員より、本日14時から大会議室で開催される清水特任准教授の定例研究会について案内があった。

4) 情報・広報委員会

菅委員長より、前回教授会で東洋文化研究所のロゴマークの使用規程を定めたことを報告した際に、アラビア語版の取扱いについて質問があり、同様とする旨を確認したが、その後、東文研の旧英語名称をモチーフにしたものであることが判明したとの報告があり、取扱いについては改めて委員会で検討したいとの説明があった。

5) 図書委員会

特になし

6) 東洋学研究情報センター委員会

平勢委員長より、今年度の重点プロジェクトの実施状況についてヒアリングを予定しているので、ご協力いただきたいとの依頼があった。

7) G J S委員会

園田委員長より、平成30年度のサマープログラムの実施について継続して検討しているとの報告があった。

- 8) その他
特になし

5. その他
特になし

審議事項

6. 教員の海外渡航について
資料P50のとおり1件が承認された。
7. 訪問研究員の受け入れについて
該当教員より説明があり、資料P51～52のとおり3件の受け入れが承認された。
8. 寄附金の受け入れについて
該当教員より説明があり、資料P53のとおり1件の受け入れが承認された。
9. 平成30年度所内予算案について
松田委員長より、資料P54に基づき、予算案について説明があり、続けて、資料P55～60の各委員会予算について、ヒアリングによる査定結果の説明があった。本件については次回教授会にて再度審議したうえで確定するため、本予算案に意見のある方は次回財務委員会の前日までにお申し出いただきたい旨説明があり、承認された。
10. 教員の兼務について
榊屋所長から、
下記の教員の兼務に係る照会がきている旨説明があり、審議のうえ承認された。
(1) 大学院総合文化研究科：中島教授
(2) 大学院総合文化研究科附属国際日本研究教育機構：中島教授、佐藤教授、鍾准教授
(3) 日本・アジアに関する教育研究ネットワーク（ASNET）：池本教授、徐助教
11. その他
特になし

以上